

議会だより しずし /

No.190

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

ホームページは「酒々井町議会」で検索してご覧ください ☎043-496-1171

平成31(2019)年2月1日発行

もち 子どももお餅もぐんぐん伸びる!

中央保育園のお餅つきが
1月10日に開催され、子ども
たちは「よいしょー!」
と大きな掛け声をかけてい
ました。



工事の契約や補正予算等の議案審議・・・・・・・・P2~P5

本会議、委員会での議案審議結果・・・・・・・・P6~P7

公共施設整備や福祉問題、教育関係
など議員9名が町政を問う・・・・・・・・P8~P13

130th
2019

千葉県
酒々井町誕生130年!!

日本で一番古い町・酒々井

地域創造発信拠点施設を新築

特産品の開発や販路拡大を支援



アウトレットに近接した場所で建設が進められている拠点施設（1月21日撮影）

平成30年12月定例会で上程された議案は次のとおりです。

議案

〔議案第1号〕

特別職の期末手当の支給割合を0・05月分引き上げ

特別職の期末手当における年間支給割合を一般職の改定に準じて改正するもの。

※賛成多数で可決

〔議案第2号〕

職員の給与等に関する条例等の一部改正

人事院勧告および千葉県人事委員会勧告の内容に準じた給料表、勤勉手当および宿日直手当の改定に伴い所要の改正を行うもの。

※全員賛成で可決

〔議案第3号〕

家庭的保育事業の設備、運営に関する基準条例の一部改正

国の基準が改正されたため、町の条例も国と同様に一部改正するもので、家庭的保育所等で職員の休暇等により代替保育が必要となった場合、小規模保育事業A型等の保育士が配置されている保育事業者が連携先として認められるようになった。

また、食事の提供の特例として、家庭的保育事業所等に入所している乳幼児に対して自園給食の提供が困難な場合は、保育所等への給食事業を受託しており、給食の提供を適切に行うことができる」と認められる事業者からの搬入も可能となったことから、町条例を一部改正するもの。

※全員賛成で可決

〔議案第4号、第5号、第6号〕

介護保険法の改正に伴い「介護保険法の改正に伴い3つの町条例を一部改正するもの

介護保険法の改正に伴い「指定居宅サービス等の事業の人員、設備および運営に関する基準等の一部を改正する省令」が制定されたことにより、町においても3つの条例の一部改正が必要になったもの。

議案第4号 オペレーターに係る基準の見直しや共生型地域密着型サービスの創設などを定めるもの。

※全員賛成で可決

議案第5号 議案第4号の改正内容に準じて、その基準を改正するもの。

※全員賛成で可決

議案第6号 入院時における医療機関との連携促進などを定めるもの。

※全員賛成で可決



建築後46年が経過している役場中央庁舎

【議案第7号】
一般会計を増額補正

歳出は、庁舎耐震補強工事等改修事業、子どものための教育・保育給付費負担金の実績に伴う返還金、プリミエール酒々井、中央公民館、岩橋保育園、役場庁舎等の各施設の光熱水費、および給食センター等の燃料費の増額、各種施設修繕料などの他、人事院勧告および県の人事委員会勧告の内容に準じて、人件費の補正等を行うもの。
歳入は、各事業費の増額に伴う国・県支出金、一般会計繰入金等の増額をするもの。

また、千葉県議会議員選挙事業、酒々井町議会議員選挙事業や防災資機材等備蓄施設整備工事、庁舎耐震補強等改修事業、各事業についての繰越明許費の設定、戸籍住民基本台帳一般事務業務についての債務負担行為を設定することに伴い、4663万7千円を増額するもの。
※全員賛成で可決

＜一般会計補正予算額＞

補正前	66億7484万9千円
補正額	4663万7千円
合計	67億2148万6千円

【議案第8号】
水道事業会計を増額補正

人事院勧告および千葉県人事委員会勧告の内容に準ずるものほか、職員の扶養親族の増加により人件費の補正を行うもの

で、収益的支出を11万5千円増額し、資本的支出を16万円増額するもの。
※全員賛成で可決

＜水道事業会計補正予算額＞

収益的支出	補正前	3億9952万9千円	資本的支出	補正前	10億1360万2千円
	補正額	11万5千円		補正額	16万円
	合計	3億9964万4千円		合計	10億1376万2千円

【議案第9号】
下水道事業会計を増額補正

人事院勧告および千葉県人事委員会勧告の内容に準じて人件費の補正を行うもので、収益的

支出を3万1千円増額し、資本的支出を3万3千円増額し、職員給与と費を6万4千円増額するもの。
※全員賛成で可決

＜下水道事業会計補正予算額＞

収益的支出	補正前	4億3689万3千円	資本的支出	補正前	3億362万8千円
	補正額	3万1千円		補正額	3万3千円
	合計	4億3692万4千円		合計	3億366万1千円

【議案第10号】
酒々井小学校の用地購入に議決を求めるもの

酒々井小学校用地（地権者2

【議案第11号】
（仮称）酒々井町地域創造発信拠点施設建設工事の議決を求めるもの

（仮称）酒々井町地域創造発信拠点施設建設工事について、指名競争入札を実施した結果、11月28日に国井建設株式会社が落札し、同社と7106万4千円で仮契約を締結したことから、議会の議決を求めるもの。
※賛成多数で可決

名、5筆5089㎡）を5762万4千円で取得する仮契約を締結したことから、議会の議決を求めるもの。
※全員賛成で可決



＜地域創造発信拠点施設＞
（上の図は完成予定図）
敷地面積 539.28㎡、
建築面積 195.19㎡、
構造 鉄骨造平屋建て

【諮問第1号】

齊藤甲一氏を人権擁護委員に再任



齊藤 甲一 氏

平成31年3月31日付けをもつて任期満了となるため、齊藤甲一氏を再任として推薦した。議会の意見を求めるもの。
※全員賛成で適任

議案への	議論
反対	討論

【議案第11号】

経費に見合う施設ではないと必要ないと考え反対

齊藤 博 議員

アウトレット付近、マルシェに近接する国有地を1620万円で購入し「地域創造発信拠点

施設」を7106万円为建设するものであるが、それだけの経費を費やして整備する必要はないと考える。新たな施設での業務は、「創業支援」、「特産品の開発・相談業務」、「来訪者との交流促進」等は、遠出しなくても役場内や公民館等の利用が適していること。「観光案内所」は、アウトレット内にある「コミュニケーションセンター」と二重投資になること。更に、職員配置等で600万円程度のランニングコストが生じる。これは、コミュニケーションプラザの経費を削減するとの考えと矛盾していることから反対する。

【議案第11号】

町の推進するコンパクトシティと相反し経費が多額となり反対

御園生 浩士 議員

町長はコンパクトシティをうたい駅周辺に町機能を集約したまちづくりを進めるため、今年6月に子育て支援センターを開設させた。コンパクトや節約を考慮するのであれば、既存施設の「味だより」「酒々井コミュ

ニティプラザ」「アウトレット内の案内所」などの連携や機能強化を図るべきであり、同じような施設の建設は町税のムダ使いである。施設予定地の隣接は、民間経営の「いずもマルシェ」でさえ営業不振で閉鎖された。また、ここには町主導で6市町合意による「房総の牧」として日本遺産申請の対象となる「野馬土壘」がある場所で文化財への適切な配慮もなされていない。町はコンパクトシティや歴史、文化を守ることを掲げているが矛盾が生じており、施設のあり方に疑問を呈し反対する。

【議案第11号】

事業の継続性に疑問を呈し反対

竹尾 忠雄 議員

本議案が可決されれば平成31年3月に建物が完成する。通常であれば4月1日からオープンとなる。委員会で質問しても「オープンの日」「運営に携わる職員数」「年間の運営費」については、検討中との答弁であった。私は委員会審議の土台がなく反対した。施設の目的は、町

議案への	賛成
議論	討論

【議案第11号】

商工、農業、観光業を活性化するために必要な施設であり賛成

小早稲 賢一 議員

今回の国からの交付金については、地方における生産性革命の目的に沿う緊急性の高い施設

の特産品等のマーケティング（販売）を目的とした施設だが、未だに生産者に声をかけていないのに商品が集まるか疑問である。また、目的には観光案内所として町の情報を発信する施設となっているが、既にアウトレット内で委託し平成25年度からコミュニケーションセンターが運営され、6年間で5800万円（建設費含む）で同じような事業が行われている。総事業費は1億円（土地取得費含む）以上の事業である。事業の継続性に疑問を呈し反対する。

整備が対象であり、厳しい条件のもと町の事業が採択され、評価されたことは大変喜ばしいことである。
私は商工業者の一員として、町の中小企業の販路開拓の相談窓口や観光協会を含めた発信基地を望んでおり、低迷する商工、農業、観光業を活性化するには、このような新しい施設が絶対に必要であると考えている。そして、この施設の観光情報等の発信機能を拡充し「観光案内所」とすることで、アウトレットに来場する方々を少しでも多く町中に呼び込み、町内業者が活性化する拠点となることを望んでいる。町内業者が活性化することとは、町全体が活性化することになる。そして、町独自の自由な発想で様々なことに挑戦できる研究や推進母体ができることは非常に重要である。
なお、総事業費9614万7千円は、各種交付金および100%交付税措置のある町債によるもので、町の負担は一般財源407万4千円のみ、事業費の5%に満たない額である。土地購入時同様に町の負担を最小限に抑えることができ、賛成する。

発議案

平成30年12月定例会で上程された発議案は次のとおりです。

【発議案第1号】

一問一答制導入により質問回数制限を撤廃

議会改革特別委員会での協議の結果、一般質問において一問一答制の導入が決定したことから、質問回数の制限を撤廃し、質問者席から質問することとなったため、会議規則を改正するもの。

※全員賛成で可決

【発議案第2号】

傍聴受付簿を傍聴受付表に改正

標準町村議会傍聴規則の改正により、「傍聴受付簿」を「傍聴受付表」と改正することになったことから、同様に改正するもの。

※全員賛成で可決

【発議案第3号】

消費税を10%に増税しないことを求めるもの

安倍首相は、消費税を10%に増税するとしているが、深刻な消費不況が続いている。消費税の引き上げで、複数の税率やポイント還元など、買う側にも売る側にも負担と大混乱を強いる内容となっている。税金は社会保障、若者、子育て支援などに優先して使うべき。そして、国民の所得を増やす経済政策に切り替えれば、格差と貧困を是正することができ、景気の回復にも役立つ。その道こそ、日本国憲法を生かした経済政策であると考え、意見書を提出するもの。

※賛成少数で否決

【発議案第4号】

酒々井中学校体育館屋根の早期改修を求めるもの

現在、中学校では生徒や教師がまとまった雨の降る日は体育館にバケツやモップを用意して授業や部活動をしている状態であり、生徒、PTA、学校側か

ら改修の強い要望が寄せられている。学校での授業やクラブ活動に支障があり、その原因である「屋根の雨漏り」は、早急に解決しなければならぬ問題である。また、学校の施設は、災害時に町民が避難する「指定避難場所」としての役割もあることから、緊急かつ重要性を鑑み、優先順位第一位として平成31年度予算に計上し、早期改修を実現することを要望するもの。

※賛成多数で可決

発	議
案	の
賛	成
討	論

【発議案第3号】

消費税の増税は中止し富裕層と利益を上げて大企業に負担を求めることに賛成

竹尾 忠雄 議員

消費税は30年前に3%で導入してから、その後5%、8%と引き上げられ、累計349兆円の税収があったが、法人税は281兆円の減税があった。消

費税の8割が法人税の減収の穴埋めに使われ、税源として役に立っていない。2012年末に政権復帰した安倍首相は2014年4月に消費税率を5%から8%に引き上げたが安倍政権だけでも大企業に4兆円以上の減税をしている。格差社会はもうやめるべきである。消費税を導入し増税を重ねても社会保障予算のカットや年金、医療の制度改悪で社会保障予算は3・9兆円も削減された。一方では、毎年増え続けている軍事費（防衛費）は5兆円を突破した。「社会保障のため」とはウソではないのか。百害あって一利なしの増税は中止しかない。町民の暮らしを守るために賛成する

【発議案第4号】

中学校体育館の屋根改修工事は平成31年度当初予算に計上すべきであり賛成

竹尾 忠雄 議員

酒々井中学校体育館の屋根の改修に関しては、平成30年6月議会でも「中学校体育館屋根の早期改修を求める意見書」が採

択され、町長に提出されている。また、町監査委員からも体育館の雨漏り対策を早急に行うことの指摘があった。中学生からも模擬議会で訴えがあり、生徒が安心して学校生活が送れるようにするため、屋根の早期改修は町の最優先課題にすべきである。以上のことから、平成31年度の当初予算に改修費用を計上し、早く生徒にメッセージを発信すべきと考え、賛成する。

齊藤議員が総務常任委員会の委員長に

12月4日に齊藤博議員が総務常任委員会の委員長に就任しました。これは、委員長であった平澤議員が議員辞職したことに伴うもので、齊藤議員は議会運営委員会、印旛衛生施設管理組合の議員にも就任しました。

平澤議員が議員辞職

平澤昭敏議員が一身上の都合により、11月14日に議長あてに辞職願を提出し、同日付けで許可され、議員を辞職しました。

各常任委員会での審査結果

※件名は一部省略しています。

◎…委員長
○…副委員長

総務常任委員会

※議会事務局、総務課、企画財政課、税務住民課、委員 ◎齊藤／○高崎
会計室、選挙管理委員会、監査委員、固定資 佐藤／川島
産評価委員会、その他の事務の審査を担当

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	3	0	原案可決
議案第2号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正	3	0	原案可決
議案第7号	一般会計補正予算 委員会担当分野	3	0	原案可決

教育民生常任委員会

※住民協働課、健康福祉課、委員 ◎御園生／○濱口
教育委員会についての審査 地福／越川
を担当 江澤

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第3号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第4号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第5号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第6号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	4	0	原案可決
議案第7号	一般会計補正予算 委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第10号	財産の取得	4	0	原案可決

経済建設常任委員会

※経済環境課、まちづくり課、委員 ◎小早稲／○須藤
上下水道課、農業委員会に 竹尾／内海
についての審査を担当

	件名	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第7号	一般会計補正予算 委員会担当分野	3	0	原案可決
議案第8号	水道事業会計補正予算	3	0	原案可決
議案第9号	下水道事業会計補正予算	3	0	原案可決
議案第11号	工事請負契約の締結	2	1	原案可決

本会議での 議決結果

議案と議決結果

賛成・・・○ 反対・・・× 議長は採決に加わりません。

番号	件名	本会議の採決結果																
		採決結果	濱口	須藤	欠員	欠員	御園生	川島	齊藤	内海	佐藤(議長)	江澤	欠員	越川	竹尾	地福	小早稲	高崎
1	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	可決 (賛8・否2)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	×	×	○	○
2	一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
3	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
4	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
5	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
6	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
7	一般会計補正予算	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
8	水道事業会計補正予算	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
9	下水道事業会計補正予算	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	○	—	欠	○	○	○	○	○
10	財産の取得	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
11	工事請負契約の締結	可決 (賛6・否4)	○	○	—	—	×	○	×	欠	—	○	—	欠	×	×	○	○
諮問1	人権擁護委員の推薦	適任 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
発議案1	酒々井町議会会議規則の一部改正 提出者：高崎長雄議員 他5名	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
発議案2	酒々井町議会傍聴規則の一部改正 提出者：高崎長雄議員 他5名	可決 (賛10・否0)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	○	○
発議案3	国に消費税10%増税中止を求める意見書の提出 提出者：地福美枝子議員 他1名	否決 (賛3・否7)	×	×	—	—	×	×	○	欠	—	×	—	欠	○	○	×	×
発議案4	酒々井中学校体育館屋根の早期改良を求める意見書の提出 提出者：御園生浩士議員 他8名	可決 (賛8・否2)	○	○	—	—	○	○	○	欠	—	○	—	欠	○	○	×	×

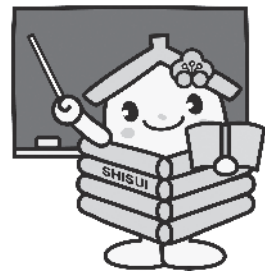
※件名は一部省略しています。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。12月定例会の一般質問は、12月12日と13日の2日間に9名の議員が行財政全般にわたり、今後の対応策などについて質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館(プリミエール酒々井内)で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。12月定例会の会議録は、3月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ(しすいちゃん)

No.1 御園生 浩士 議員 P 9

- ◆ 町の事業
- ◆ 町の人口構成
- ◆ (仮称)酒々井町青少年交流の家
- ◆ 町道の認定や廃道の基準

No.6 小早稲 賢一 議員 P 11

- ◆ 馬橋地先「馬橋川等」の盛土対応
- ◆ 平和都市宣言

No.2 江澤 眞一 議員 P 9

- ◆ 平成31年度当初予算編成および事業計画

No.7 齊藤 博 議員 P 12

- ◆ 酒々井南部地区の税収見通し
- ◆ 特別職報酬等審議会の開催
- ◆ 町の財政運営
- ◆ 馬橋川に係る用地取得

No.3 須藤 伸次 議員 P 10

- ◆ 「酒々井町誕生130周年」にあたり事業の実施
- ◆ JR酒々井駅前の中心市街地活性化

No.8 竹尾 忠雄 議員 P 12

- ◆ 教育環境の整備
- ◆ 通学路の安全対策
- ◆ 財産(土地)の購入
- ◆ 馬橋地先の盛土崩落

No.4 内海 和雄 議員 P 10

- ◆ コミュニティプラザに温水プールの建設
- ◆ 酒々井インターチェンジ周辺の開発
- ◆ 県道富里酒々井線および成東酒々井線
- ◆ 町体育館と酒々井小学校のプール

No.9 地福 美枝子 議員 P 13

- ◆ 子どもの医療費無料化を高校生までに拡大を
- ◆ 国保税の町の軽減策
- ◆ 空き家対策
- ◆ 災害時の避難対策
- ◆ 交通弱者対策

No.5 濱口 信昭 議員 P 11

- ◆ JR酒々井駅駐輪場
- ◆ まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況
- ◆ 保育園の入園申請

※各議員の質問事項については、本紙に掲載してある質問をゴシック体で表記してあります。



JR酒々井駅西口駐輪場の現状 (1月21日撮影)

問

JR 駅前駐輪場建設の進捗状況は

答

年度内の完成に向け
事業を進めていく



御園生 浩士 議員

問 JR 酒々井駅西口の駐輪場建設は、町民より工事が数か月も中断しているとの声を聞いている。それは、工事全体を示す看板も案内も掲示されていないのが原因ではないか。現在の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 駐輪場建設については、4月に発注した排水施設や舗装工の土工事が10月4日の検査をもって完了し、上屋等の建築工事は、11月27日の開札で請負業者が決定した。今後は、年度内完成に向け事業を進めている。

町内の外国人居住者の内訳は

問 現在、外国人労働者の受け入れ、医療、低賃金、死亡事故、自殺など多くの問題が発生している。当町における外国人居住者の国別の人数を伺う。

税務住民課長 平成30年11月1日付けの住民基本台帳国籍別人員では、人員の多い順に、中国128名、韓国94名、フィリピン68名など、合計32か国、567名となっている。

「青少年交流の家」の裁判の状況は

問 「青少年交流の家」の裁判の交渉経過を伺う。

教育次長 平成30年9月27日に千葉地方裁判所で第2回弁論準備手続きが行われ、8月2日の第1回弁論準備書面1の提出に引き続き、被告側から手続き準備書面2が提出された。第3回弁論準備手続きが、平成30年11月22日に行われ、これまで被告側から提出されていた準備書面に対し、原告である町側の認否書を提出した。次回は平成31年1月17日に決定し、弁論準備手続きとして行われることになった。

問

酒々井コミュニティプラザの
事業計画と予算化の状況は

答

予算については、清掃組合、佐倉市と費用負担の協議をしている



江澤 眞一 議員

問 平成31年度当初予算編成および事業計画について、次の点を伺う。

- ① 酒々井コミュニティプラザの事業計画と予算化について、町の考えを伺う。また、運営母体はどこになるのか併せて伺う。
- ② 交通弱者対策としてのふれ愛タクシー事業と循環バス導入について計画および進捗状況を伺う。
- ③ 買い物物困難弱者支援事業について、準備状況を具体的に伺う。また、開始時期および来年度の補助金について、町の考えを伺う。

経済環境課長 ① 酒々井コミュニティプラザは、検討委員会の提言を踏まえ、指定管理者制度を前提にプロポーザル方式により事業者を選定のうえ改修基本設計を実施し、今年度は実施設計を行っている。現在、清掃組合、佐倉市と費用負担について協議しており、協議が整い次第予算化を考えている。運営母体は、実施設計に基づき改修工事を実施するとともに、指定管理者の募集を行い、指定管理者による管理運営を実施していくこととしている。

健康福祉課長 ② しやすいふれ愛タクシーは、課題が明らかとなったので、その課題の解決に向け、5つの施策の推進に取り組んでいきたいと考えている。また、循環バスは、近隣市町の実施状況を踏まえて、当町で実施する場合の課題等を解消しながら進めたいと考えている。将来的には、「駅から遠い方」や「しやすいふれ愛タクシーに乗れなかった方」への対応として、町内に十数箇所の停留所を設けた循環バスの試行運行を想定している。

副町長 ③ 町では高齢者など買物困難者への支援の一環として「株式会社とくしまる」と「株式会社ナリタヤ」の協力のもと、移動販売事業を進めている。現在、平成31年2月の事業開始に向け利用者を募集しており、多くの人が利用していただくことで事業の継続が図られることから、周知についてご協力をお願いしたい。なお、買物困難者支援事業補助金については、今回は協議により不要となったことから、来年度以降についても補助は考えていない。

問

酒の井の碑に隣接する売地を町が購入して整備すべきでは

答

早期の公有化を検討してく



須藤 伸次議員

問 西暦2019年(平成最後の年)酒々井町誕生130周年を迎えるにあたり次の事業について伺う。

① 町名の由来でもある「酒の井の碑」が町の中心部にあることから、知名度をアップさせるまちなか歴史回廊事業として取り上げてみてはどうか。

② 現在「酒の井の碑」に隣接し県道に面している住宅地が中古物件として売り出していると聞く、既存建物も含め町が購入し「学童の遊園の場」「中高年の散歩、歴史散策」「町民の憩いの場」「他市町村からの誘客の場」等に有効活用できると考えるが積極的な検討を願う。

町長 ①、② 「酒の井の碑」は、町名の起源である「酒の井の碑」を街中の観光拠点、景観シンボルとして位置づけている。このため町が土地所有者の理解を得て無償で借用し、ボランティア団体と協働で保全活動に努めている。今後、積極的に整備・活用するうえで、隣接地である住宅地は、地域の憩いの場や遊び場、駐車場にも適しており、売買されると利活用にかかわる

事実であることから、早期の公有化の検討をしていく。

JR酒々井駅の駅前の一区画に屋台村のような整備を検討すべき

問 中心市街地活性化に関して、JR酒々井駅の駅前商店街、アーケード街の整備には長い年月がかかると思うが、商業店舗を集積した「一区画」を計画すべきと考える。そこで「生活環境の拠点」「福祉、回廊の拠点」としての商店街について、町の考えを伺う。

経済環境課長 町では、日常生活に必要な買い物など、駅を中心とした徒歩圏内に生活機能が整っているコンパクトシティを目指しており、JR、京成酒々井駅周辺の中心市街地を商業業務拠点として、商業機能の立地を誘導するなど賑わいを創出する必要があるものと考えている。そのようなことから、今後は産業振興基本条例に基づき設置した産業振興推進会議での意見や商工会と協力し、地域商業の活性化に取り組んでいきたい。

問

酒々井コミュニケーションプラザに通年型の温水プールを整備すべき

答

介護予防のための歩行浴を併設した風呂を計画している



内海 和雄議員

問 ちびっこ天国の休止に伴い、コミュニケーションプラザに通年型の温水プールを清掃工場の熱を利用して、建設を計画すべきと思うが、町の考えを伺う。

町長 温水プールは、リサイクル文化センターから供給される湯量に限界があり、介護予防のための歩行浴を併設した風呂の改修を計画した。

インターチェンジ周辺の土地利用は

問 酒々井インターチェンジ周辺の土地利用については、富里市等と連携をして進めていくと聞いているが、その後の検討状況について町の考えを伺う。

副町長 八街市、富里市と酒々井インター周辺活性化協議会を設置し、意見交換や研修会等を行い地域連携の強化を図っている。今後は県、県議会議員等の協力を得ながら、地域の活性化に向け検討を図りつつ、関係機関との協議を進められるよう努力していきたい。

県道の整備状況と今後の計画は

問 県道富里酒々井線および成東酒々井線について、整備が計画より大分遅

れているが、今後の計画を伺う。また、県に対して早急に整備するように強く要望すべきと思うが町の考えを伺う。

まちづくり課長 事業主体の県に確認したところ、富里酒々井線は、今後も用地買収を進め、歩道を整備していくとのことであった。成東酒々井線は、平成15年度から事業が休止状態であり、事業再開のタイミングを町と調整していきたいとのことであった。要望については、これまでも印旛土木事務所に対して様々な機会において町の要望を伝えていくところである。

町体育館整備などの検討状況は

問 町体育館は、検討委員会の報告の後、具体的にどのようにするのか教育長の見解を伺う。また、酒々井小学校のプールを夏期に小中学生に開放してはどうかと思うが教育長の意見を伺う。

教育次長 町体育館は検討委員会の内容で進めることは難しく、庁内に検討委員会を設置し検討している。また、酒々井小学校のプールは老朽化により使用を中止し、活用は考えていない。



工事のため設置された仮設駐輪場

問 JR酒々井駅駐輪場の工事は、6月末以降目に見える進展がないようだが、現在の状況と今後の計画を伺う。

まちづくり課長 現在の状況は、上屋等の建築工事について、11月29日に請負業者と契約をした。なお、これまで運用開始と料金徴収を西口、東口の完成ごとに行う計画であったが、利用者が無料の駐輪場へ流れる等の混乱が予想されることから、西口と東口を同時に料金徴収する方法への見直しを行った。今後は、今年度内に西口駐輪場の整備と東口駐輪場の測量、設計を行い、平成31年度に西口駐輪場の供用開始、東口駐輪場の整備、両駐輪場管理

答

今年度は西口、31年度に東口を整備し32年度から料金徴収の予定

問

JR酒々井駅駐輪場の建設状況と今後の計画は



濱口 信昭議員

業者の決定、平成32年度より料金徴収する計画となっている。

町の計画の進捗状況と達成状況は

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略基本目標3に関し「ネウボラ支援拠点利用者数」、「英語検定3級の取得率」について、重要業績評価指標（KPI）の進捗状況、達成見込み等を伺う。

子ども課長 子育て支援センターの利用者数は、開所した6月から11月までの利用者が3000人を超えており、重要業績評価指標の1800人を上回った。利用者数の拡大に向けては、赤ちゃんコーナーを設け、乳児から小学校就学前の子どもたちが安全に遊べるようにするとともに、土曜日を開所とし、利用できる日数を増やした。

学校教育課長 酒々井中学校の英語検定3級の取得率は平成29年度36・9%、平成30年度は11月末現在で35・4%となっており、重要業績評価指標の20%を達成している。この成果は検定の補助や朝自習に英検対策をしていることが要因と考えている。

答

原因者に復旧を求めるとともに事業化に向け用地購入を進めたい

問

住民の安全・安心を確保するため早急に馬橋川の復旧を行うべき



小早稲賢一議員

問 馬橋地先における一連の盛り土により、水路（馬橋川）や町道などが壊され、暗渠は入り口部分がせき止められて大きな池ができた。現状のままでは、住民に被害を与える可能性があることから、原因者に復旧させるべきだが、一筋縄にはいかない実情がある。

しかし、近隣住民の安全・安心を確保する立場から馬橋川の水路復旧は早急にすべきであると考えている。そこで、町の今後の取り組みについて伺う。

副町長 町では「盛土事業の進行を止める」「排水路の流水機能を確保する」ことを最重要課題とし、議会に用地購入費、維持管理費の補正予算案を上程したが、廃案、否決されてしまった。今後は引き続き、原因者に復旧を求めていくことと併せて、早急に馬橋川の復旧に取り組むため、事業用地の土地購入を進める必要があると考えている。

経済環境課長 違法に投棄された土砂は、県の是正区域であることから、県に対応を求めていきたい。また、町のこれまでの対応を検証するため、庁内検証委員会を設置し検証している。

非核・平和都市宣言を発信すべき

問 ① 来年の町制130周年に現在の「平和都市宣言」を基盤とし、さらに核廃絶賛同の趣旨として「非核」を新たに加えた「非核・平和都市宣言」を世界に向け宣言、発信する良い時期であると考えるが町の考えを伺う。

② 「非核・平和都市宣言」による町としての効果と課題等を伺う。

町長 ①、② 効果と課題等については、世界で唯一の被爆国である日本、その日本で一番古い町である当町が、核廃絶に賛同し「非核」を加えた「非核・平和都市宣言」を新たに宣言することは、核廃絶に対する当町の強い意思表示として、広く認知されるものと考えている。また、130周年の節目の年に宣言することは、「平和」な社会を次世代までつなぐ町の強い意思の表れであるとともに、100年安心し住めるまちづくりの理念に通じるものと考えており、今後、「非核・平和都市宣言」へ改正することについて、進めていきたいと考えている。

問

南部地区の税収が将来的に7億円としたのは見込み違いでは

答

見込み違いとはとらえていない



齊藤 博 議員

問 南部地区の税収見直しについては、南部開発事業を進めるためには全体事業費と南部地区からの税収見込みを明確にして町民に説明すべきだと要請したが、明確な説明はなく、私の質問にも「将来的には7億円」と繰り返しただけであった。アウトレットが開業して6年だが、未だに同じ答弁である。



多くの企業が進出し土地利用が図られている南部地区

現在の税収額は「当初想定」の半分以下の3億円程度。平成19年の町の想定では、税収は7億円、税目ごとには固定資産税で4億円、法人町民税で2億円、消費税交付金等で1億円というところであった。元々、事業者や事業内容が変わったのに、税収の額が変わらないのも奇妙なのだが、税収の見込み違いの原因は、何だったのか。アウトレットの3期目の増設も終わり、未利用地も少なくなつたため、新たな増収は多くは望めないと考えるが、「南部地区の税収」が7億円になるのは何年後の見直しなのか伺う。

税務住民課長 税収については、平成18年当時に進出を予定していた企業の計画から見込まれた、酒々井南部土地区画整理事業による税収を「企業から提示された施設規模等から想定した場合」と前置きし、年約7億円程度の税収と期待したものであり、見込み違いとはとらえていない。なお、現在、酒々井南部地区の税収は、当初見込みの6割程度あるものとみている

問

中学校体育館の屋根改修工事は当初予算に計上し早期実現を

答

財源の確保を含め総合的に検討していく



竹尾 忠雄 議員

問 ① 酒々井中学校体育館の屋根改修工事は平成31年度当初予算に計上すべきと思うが、町の考えを伺う。
② 安全な中学校グラウンドの完成見込みを伺う。また、テニスコート整備は平成31年度完了するのか伺う。

③ 各小学校、中学校体育館へのエアコン設置を検討すべきと思うが、町の考えを伺う。

教育次長 ① 現在、平成31年度予算の策定中であり、財源の確保を含め、総合的に検討していく。

② テニスコートの整備を含め、できるだけ早期に完成できるよう努める。

③ 近年の猛暑対策、災害時の避難施設としての観点からすでに検討をしているが、財源などについて、今後さらに検討が必要と考えている。

通学路の安全確保を

問 上岩橋上郷地先の福美造園の下の狭隘道路は通学路として安全が確保されている道路だと思うか。町の認識を伺う。

まちづくり課長 この道路は、これまで待避所の設置やすべり止めのカラー舗装などの安全対策をしており、一定の安全は図られていると思うが、引き続き現道用地内での有効な対策を検討していく。

町が土地を購入する際に基準や要件はあるのか

問 町は平成25年に東京電力から約323㎡を取得、平成27年には柏市の不動産会社から1万6517㎡を取得した。2件とも会社からの依頼に町が応えたもので、合わせた購入金額は1440万8090円だが未だに未利用地である。これは税金の無駄使いではないか。土地等の財産を購入する要件や基準はあるのか。どのような判断で決定しているのかを伺う。

副町長 財産購入に関する規定は町財務規則で定めているが、この規則では購入要件等は規定しておらず、土地の取得については、事業を計画する際に必要性等を判断し、取得しているところである。

問

国保税の引き下げや子どもの医療費無料化を高卒まで拡大し負担軽減を

答

子どもの医療費助成を高校卒業まで拡大することは厳しい状況



地福 美枝子議員

問 子どもの医療費の無料化について、これまでの中学生までの医療費はどのくらいの支出か。また、高校卒業まで無料化した場合の見込み額を伺う。
こども課長 中学生までの医療費助成の平成29年度決算額は、5927万6559円で平成30年度の決算見込額は5571万5777円である。また、高校卒業まで助成した場合の試算額は、1384万4000円となる。この費用は、国、県の補助がなく現時点では、助成の拡大は厳しい状況である。

国民健康保険税の軽減を

問 国保税の町の軽減策について、18歳未満の均等割り額を無料化した場合、対象者数と総額を伺う。
税務住民課長 人数は337人で、総額は990万7800円である。

空き家の状況と今後の活用方法は

問 空き家の数および相談件数と内容を伺う。また、空き家を集会所や駐車場等に活用する意向について伺う。
まちづくり課長 空き家等の数は、平

成28年度の調査で、77戸となっている。次に、相談件数は、平成28年度から本年11月末までに約50件となっている。なお、相談内容は、所有者から建物の老朽化に伴う除却方法の相談や近隣住民からの建物や庭木などの管理の相談が多く寄せられている。
企画財政課長 町では空き家バンク制度の準備をしているが、集会場や駐車場は対象外となることから必要性が生じた場合に個々に検討していく。

災害時の避難対策は万全か

問 指定避難所のライフラインの確保について、現在の状況を伺う。また、公園等の一時避難所に防災トイレを設置する考えを伺う。
総務課長 町内には指定避難所が7か所あるが、トイレ、水、電気、通信設備を整備し、避難所生活の環境を良好に保つよう努めている。

町長 以前、防災用多目的トイレの設置を自治会に相談したが、不要のことで断念した経緯があり、現在、防災トイレの設置は考えてない。

地域活性化対策を学ぶ

平成30年11月8日に「印旛郡町村議会議員自治研修会」が酒々井町役場で開かれ当町の議会議員および職員と栄町の議員が参加しました。

研修会では、愛知大学地域政策学部教授の鈴木誠氏から「市街地・商店街活性化の取り組み」と題し、他の自治体の事例を紹介いただき、具体的な地域活性化の取り組みを学ぶことができました。

鈴木教授からは、高齢化社会を迎え



高齢者の活躍と地域住人の連携が活性化の「カギ」

るにあたり、地域の「カギ」となる高齢者の活躍は町の活性化に必要不可欠な要素となってくることから、地域住民、自治会、ボランティア団体等の連携、交流を活発化させ、駅前を中心とした地域活性化対策を実施するべきであるとの説明がありました。

具体的には、駅前広場を活用した屋台村の活用事例等を紹介いただき、持続可能な賑わいを生む市街地、商店街の取り組みを学ぶことができました。

3月定例会のお知らせ

次の定例会は、3月上旬に開会する予定となっております。会期の概要は、2月26日に開催予定の議会運営委員会で決まります。会期の概要は、町議会のホームページやポスターでお知らせします。

また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができ、傍聴席の定数は25名となっております。

なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ (496) 1171

(内線251、252)



空き家バンクとは、空き家を対象とし、売却や賃貸を希望する空き家所有者から申し出を受けて登録した空き家の情報を町内への移住定住等を目的として空き家の利用希望者へ紹介する制度です。

新成人に聞きました

- ① あなたにとって酒々井町はどんなところ？ ② 議員になったらどんな町にしたいですか？
③ 将来の目標のために何を頑張っていますか



やまぎし ふうま さん
山岸 風馬 さん

- ① のどかで住みやすく定期的に帰りたくなる町。
② アウトレットのように大きな施設を建てて宣伝する。
③ たくさんの現場に行って勉強しています。



うえだ かりん さん
上田 夏鈴 さん

- ① 安心できる心地の良い所。
② 事故のない町にしたい。
③ 教師を目指しているため、その勉強や活動を頑張っています。



おおの なおき さん
大野 直樹 さん

- ① 心やすらげる場所。地域の方々が温かく、助け合える場所は酒々井町だけだと思う。
② 教育方面に力を注ぎ、教育を活発にしたい。
③ 小学校の教員になるため、子どもと多く関わり、悩みや心配事に敏感になれるよう努めています。



はやし みう さん
林 美佑 さん

- ① 安全、安心で自然が豊かで住みやすい町。
② 高齢化しているので、高齢者が住みやすい町にしたい。
③ 看護師になるために技術の向上を図っています。

委員長 齊藤 博
副委員長 濱口 信昭
委員 川島 邦彦
委員 須藤 伸次

私たち議員の任期は4月29日までです。次号は、新たなメンバーが議会だよりを作成します。
今後も議会として適切な情報公開に努めていきますが、新しい視点に立った議会だよりをご期待ください。

編集にあたって



色鮮やかな振り袖姿の新成人